平成29年9月発行 第33号 発行：京都府立林業大学校（隔月発行）

京林大だより

No.33

絵：卒業生 熊走君

猛暑の中オープンキャンパス開催

7月29日（土）連日の猛暑の中、今年もオープンキャンパスを開催しました。

各地から参加した14名の入学希望者が、御両親などとともに学校の概要や学生生活等について熱心に聞いていました。

また、チェーンソーや高性能林業機械の実演を興味深そうに見守り、機械の試乗に何人もが挑戦していました。

なお、今年も7月２４日から8月２６日の間の延べ９日間、学校説明会を行ったところ10名の参加がありました。

来年、たくさんの新入生が誕生することを期待したいと思います。

高性能林業機械のハーベスタ（上の写真）とグラップル付フォワーダ（下の写真）の試乗は今年も好評でした。

学校の概要や勉学のための給付金、下宿についてなど参加者は熱心に聞いておられました。

個別相談では、下宿や生活費など熱心に質問される方が多く、同席した1年生からは普段の生活についても聞いておられました。

施設案内中に、廊下に張り出してある求人票に見入る参加者。

林政ニュース

『木質バイオマスの燃料利用』

地球温暖化防止の観点から、再生可能なエネルギーの一つである木質バイオマスの利用が注目されています。

京丹波町でも特別養護老人ホーム長老園と保育所わちエンジェルに、町内の木材を使ったチップボイラによる熱供給が始まりました。

国は、農林水産省と経済産業省の副大臣等で構成する「木質バイオマスの利用促進に向けた共同研究会」を作り、地域内で間伐材等を収集し、集落規模で発電、熱利用の推進に向けた報告書を取りまとめました。

平成30年度以降、本格的な展開を図るため新たな支援策が考えられようとしています。

ほんの数十年前まで当たり前だった木材のエネルギー利用（薪炭利用の現代版？）が復活し、地域内の林業生産活動が少しでも活発になることを期待したいと思います。

『京都府立林業大学校がやってくる！』開催

８月５日（土）・６日（日）、イオンモール京都桂川において、林業大学校のピーアールイベントを開催しました。

林大生によるチェーンソーの丸太切りのデモ、㈱ＳＴＩＨＬによる電動チェーンソーの操作体験、林業大学校の紹介、木工教室、実習用機材の展示など盛りだくさんの内容で、約１５０人のお客様にお越しいただきました。

中でも電動チェーンソーの操作体験は大人気。防護服やゴーグル、革手袋で武装したちびっこ達はＳＴＩＨＬのおじさん？（失礼）の指導により真剣に丸太を切っていました。

１０年後の林大生誕生の瞬間です。

電動チェーンソーで丸太を切る参加者

校長室より

「流木」被害

校長　只木 良也

今年の夏は大荒れでした。まず、7月4日、長崎に上陸した台風3号、梅雨前線を刺激して、北九州に豪雨・大規模災害をもたらしました。被害の中心的地域は、福岡県朝倉市・東峰村、大分県日田市。スギ人工林が広がる地帯で、「日田杉」の名で古くから著名な林業地。

今回の災害。テレビや新聞の報道で目立ったのは、洪水で運ばれてきた多数の「流木」。

これが洪水の破壊力を助長したに違いありません。大量の流木、どこから？

人工林と言えば間伐などの手入れ不足がよく指摘されますが、それは立木(とくに根)の発達不全、林内下層植生の欠如などのために、土壌保全力の劣化を招き、そして、豪雨時の土壌流亡・山崩れへとつながり、山崩れでは立木も「流木」となって、押し流されます。

人工林での間引きの伐採「間伐」は、健全な森林育成に不可欠の作業です。

それは、細い間伐材もよく売れた昔は、植栽から伐採までの長い期間の、中間収入としても重要な意味ももっていました。

しかし、間伐の細材は安くて、山から運び出してもペイしないのが現在の状況で、保育上必要だからと間伐はしても、間伐木を搬出せずに林内に放置する、いわゆる「伐り捨て間伐」が多くなりました。これには「間伐しないよりは」と作業の助成金までついて・・。

これら林内の放置木が、豪雨で流出しやすいのは当然でしょう。

さて、短絡して結論を出しがちな世間一般の論が、今回のような「流木が被害拡大した災害」を、「林業地だからの災害」とか、「林業が災害を助長」などに至ることを恐れています。

今回のものは「前例のない豪雨」のもたらした大災害であり、それに至るまでの日常通常の、森林の水保全・土保全の働きが掻き消され、忘れられてはならないと、あえて言いたいのです。

編集・発行　京都府立林業大学校 〒629-1121 京都府船井郡京丹波町本庄　TEL.0771-84-2401　FAX.0771-84-0797
ホームページ：http://www.pref.kyoto.jp/kyorindai/　E-Mail：kyo-rindai@pref.kyoto.lg.jp　Facebook：https://ja-jp.facebook.com/kyotorindai